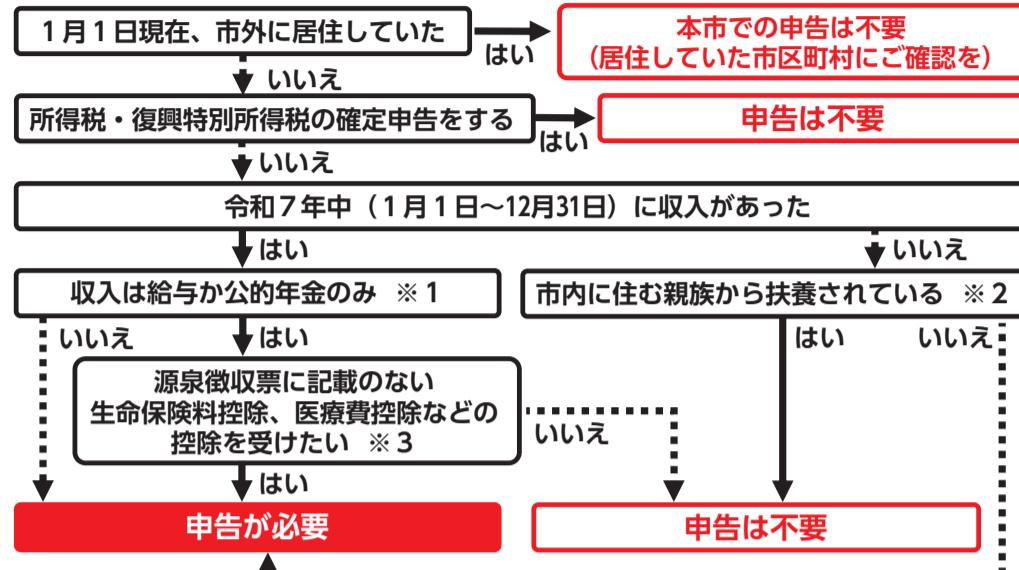


令和8年度の市民税・県民税の申告受け付け 2月6日(金)~3月16日(月)

申告が必要と思われる人へ1月下旬に申告書を発送しました。申告が必要な人で申告書が届かないときは、申告相談会場などでお受け取りください。

【市民税課☎216-1174・1175FAX216-1177】

まずは申告が必要か確認を



- ※1 給与収入があるが勤務先から市に給与支払報告書が提出されていない人や、年金受給者で遺族年金・障害年金のみを受給している人、営業・農業・不動産・個人年金・生命保険の一時金などの収入がある人は申告が必要
- ※2 一部の福祉サービスを受けるときなどに申告が必要となることがあります
- ※3 給与の源泉徴収票に生命保険料控除や扶養控除の情報などの記載があるときでも、年末調整を受けていないときは申告が必要。なお、昭和36年1月1日までに生まれた65歳以上で、遺族年金・障害年金以外の公的年金のみを受給し、収入が151万5千円以下の人には申告不要

申告書の提出 ※電子申告が可能です

申告書を記入し、必要書類(写し可)を同封の上、〒892-8677山下町11-1市民税課へ郵送してください。

申告に必要なもの

申告書、下表の各必要書類

※申告者の本人確認のため、①個人番号確認書類(マイナンバーカードなど)と②本人確認書類(運転免許証など)の提示が必要
※代理申告のときは、申告者本人の①と代理人の②の提示が必要



本庁・各支所の申告相談会場と受付日時

①本庁(本館2階講堂)、谷山支所(4階大会議室)

期 2月6日(金)～3月16日(月)の8時45分～16時30分

※土・日曜日、祝日を除く

②各支所(谷山支所を除く)、桜島公民館 ※予約優先

◇受付時間…10時～12時30分、14～16時

支所・公民館	受付日
伊敷支所	2月6日(金)・16日(月)～18日(水)・25日(水)～27日(金)、3月2日(月)～4日(水)・9日(月)～11日(水)
吉野支所	2月6日(金)・9日(月)・10日(火)・12日(木)・17日(火)～19日(木)、3月9日(月)～11日(水)
吉田支所	2月13日(金)・16日(月)、3月5日(木)・6日(金)
桜島支所	2月19日(木)
東桜島合同庁舎	2月20日(金)
桜島公民館	3月4日(水)
喜入支所	2月6日(金)・13日(金)・19日(木)・20日(金)・27日(金)、3月6日(金)
松元支所	2月12日(木)・13日(金)・24日(火)～27日(金)、3月2日(月)・3日(火)
郡山支所	2月9日(月)・10日(火)・20日(金)・24日(火)、3月5日(木)・6日(金)

◇②は専用ダイヤル☎808-0249

か申し込みフォームで事前予約できます



※事前予約は、予約日前日の12時まで

(予約日の前日が土・日曜日、祝日のときは直前の平日の12時まで)

※専用ダイヤルでの予約は2月20日まで(受付時間は8時30分～12時、13時～17時15分。土・日曜日、祝日を除く)

簡単で便利な申
し込みフォーム
での事前予約が
おすすめです!



対象者	必要書類(2025年中の収入や支払いが分かる書類) ※写し可
給与収入、公的年金等の収入がある人	源泉徴収票、給与明細書、事業主の支払証明書など
事業収入やその他の収入がある人	収入金額や必要経費が分かる書類(固定資産税納税通知書と課税明細書、帳簿類など)
医療費控除を受ける人かセルフメディケーション税制による医療費控除の特例を受ける人	医療費控除の明細書かセルフメディケーション税制の明細書(詳しくは申告書に同封する「明細書の記載要領」をご覧ください) ※2025年中に支払ったものが対象
社会保険料控除を受ける人 ※国民健康保険税、後期高齢者医療保険料などの支払いがある人	申告者本人が口座振替や納付書で保険料を支払ったときは、領収書など支払いが分かるもの ※公的年金からの支払い分は、年金の源泉徴収票に記載されているため提出不要 ※国民年金保険料、国民年金基金の支払いがある人は、控除証明書か領収書
小規模企業共済等掛金控除を受ける人	掛金の証明書
生命保険料控除、地震保険料控除を受ける人	支払保険料の証明書(控除証明書)
寄附金税額控除を受ける人	寄付先団体から交付された寄附金受領証明書など
障害者控除を受ける人	身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳・障害者控除対象者認定書など
勤労学生控除を受ける人	学生証・在学証明書など

会場の受付時間など
が昨年と変わっていますので、ご注意ください。

また、早めの申告や
郵送での申告など、
混雑緩和にご協力をお願いします



市長からのメッセージ /

市立美術館では先月末まで、鹿児島を拠点に活躍するアーティストや地元企業と連携し、「光と芸術」をテーマにしたイルミネーションイベントを開催しました。普段はイベント会場などとして利用されることが多い公共空間を、その場所ならではの特別感や地域の魅力を演出する「ユニークベニュー」として活用したこの新たな試みは、冬の夜のまちに鮮やかな彩りを添え、感動をもたらしました。

市立美術館のある鹿児島城跡周辺の「歴史と文化の道地区」は天文館からもほど近く、気軽に歴史散策や背景となる城山の四季折々の自然などを楽しむことができ



心地よい明かりでつなぐ まちのにぎわいと歴史・文化

る人気エリアです。

本市は今年度、このエリア一帯に点在する鹿児島の歴史的・文化的資源を統一感のある心地よい明かりでつなぎ、夜間も歩いてみたくなる空間として整備する計画を策定しました。

歴史と文化の薫るこの一帯の魅力を創出し、昼だけでなく夜も歩いて楽しめるまちづくりを進めていくことで、回遊性をさらに高め、ナイトタイムエコノミーによる地域経済の活性化にもつなげていきたと考えています。



鹿児島市長 下鶴 隆央